

セットアップガイド [接続編]

製品ページのご案内

本製品の「ユーザーズマニュアル」「ファームウェア」「対応表」「オプション品(スベアドライブ等)」などの情報を下記の URL からご確認ください。

<http://www.elecom.co.jp/r/49>

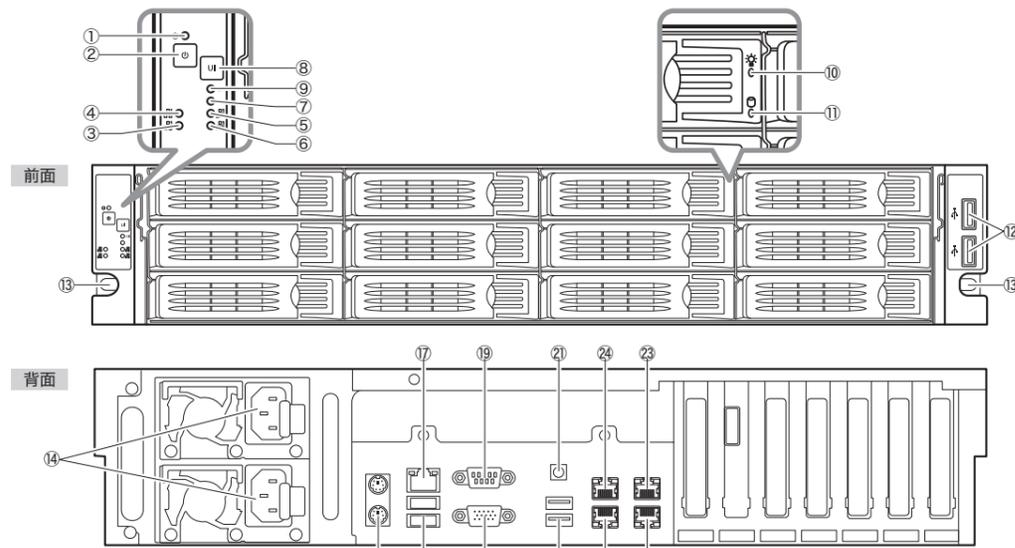


スベアドライブのご案内

対応スベアドライブ型番	NSB-SD4T1RP
スベアドライブ容量	4TB

ディスクを交換される場合は当社指定、オプションスベアドライブを使用してください。(詳細は弊社ホームページをご参照ください。)

3 各部の名称とはたらき



① 電源ランプ	緑点灯:稼働中 橙点灯:システムスタンバイ
② 電源ボタン	電源OFFの状態: ボタンを1回押すと電源がONになります。 電源ONの状態: ボタンを1秒間押しとNASがシャットダウンします。 ボタンを5秒間押しとNASが強制シャットダウンします。
③ LAN 1ランプ:	
④ LAN 2ランプ:	緑点灯:イーサネットのリンクが確立しています。
⑤ LAN 3ランプ:	緑点滅:データ転送中です。
⑥ LAN 4ランプ:	
⑦ エラーランプ	赤点灯:エラーが発生しています。
⑧ UID ボタン	ボタンを押すと、前面のUID ランプと背面のUID ボタンが青色に点灯します。 ラック取り付け後に本製品を確認する際にご利用ください。
⑨ UID ランプ	前面または背面のUID ボタンを押すと青色点灯します。
⑩ HDD ステータスランプ	青点灯:正常に動作中です。 青点滅:HDD認識中です。
⑪ HDDアクセスランプ	緑点滅:データ転送中です。 赤点灯:HDDにエラーが発生しています。
⑫ USB2.0 ポート	HDDやUPSを接続できます。メンテナンス時はマウス、キーボードを接続します。
⑬ スライド固定用ネジ穴	本製品をラックに取り付けた後スライドレールをロックするために使用します。

1 本製品の特長

- 2U 12ベイラックマウント型のNAS
- Windows Storage Server 2016 Standard搭載

2 パッケージの内容を確認する

- 製品本体 1台
 - 専用AC電源ケーブル(約1.8m) 2本
 - LANケーブル(約1.5m) 1本
 - 設定用CD-ROM 1枚
 - リカバリーディスク(DVD) 1枚
 - ご使用前にお読みください 1枚
 - セットアップガイド[接続編](本紙) 1枚
 - ラック取り付け用レールキット 1セット
- レール:2本
ネジ袋内:スライド固定用ネジ2本、ラック取り付け用予備ネジ2パック*
※ ラックの形状により使用しない場合があります。

- 別途ご用意ください
- 設置作業用手袋
- プラスドライバー(スライド固定用ネジを固定する際に使用します。)

付属のレールは以下のラックに取り付け可能です。

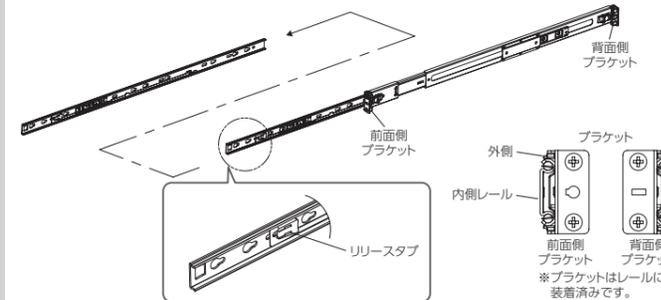
- 19インチ EIA規格
- ケージナットタイプ
- レール長(マウントアングル間) 610~921mmまで

4 本製品を接続する

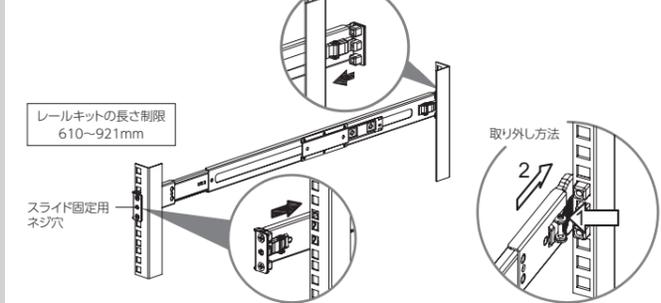
注意

安全面を考慮し、本製品ラック取り付けの際は、必ず3人以上で作業を行ってください。スライドレールには、動きをスムーズにするために油が塗付されています。また、ケガ防止のため手袋を着用して作業を行ってください。

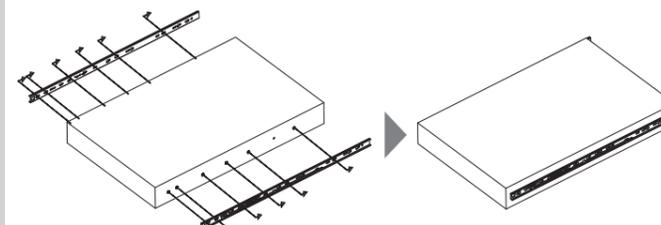
1 ラック取り付け用キットの内側のレールをリリースタブを引きながら取り外します(左右両方)。



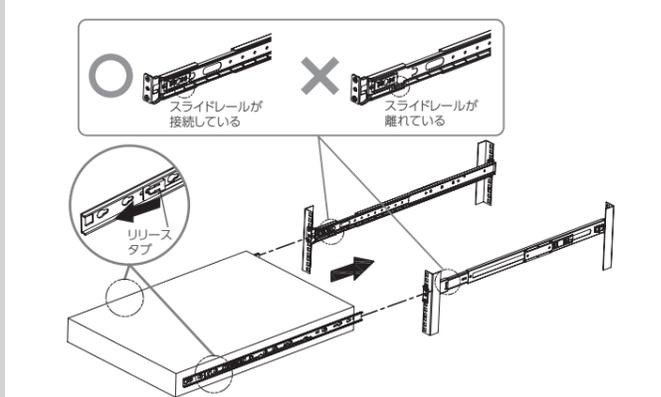
2 ラック取付用金具を前後のマウントアングルに固定します。



3 1で取り外した内側のレールを本製品の突起にあわせ、レールを前にずらして固定します。



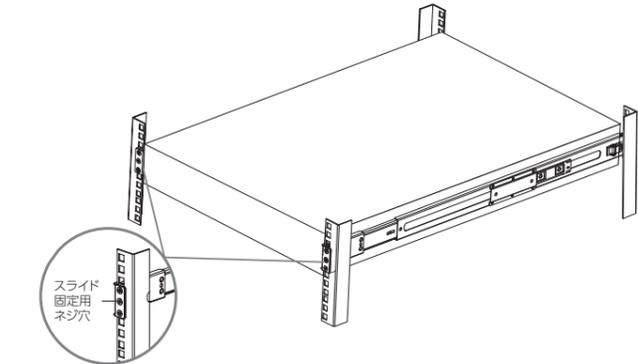
4 本製品本体を水平に保ちながら、ラック取付用金具に内側のレールを合わせて本製品の奥行き半分まで差し込みます。



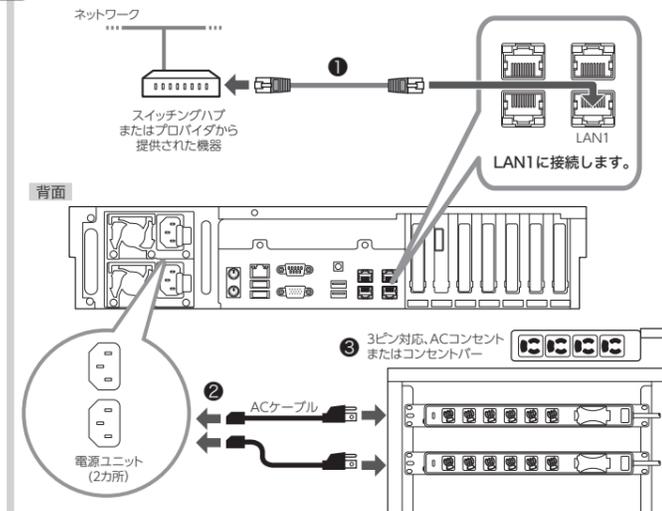
注意

本製品をラックに差し込む際に、ラックに取付けたラック取付用金具のスライドレール部分と固定部分が離れていないことを確認してください。離れている場合、本製品が上手く差し込めず、レールが曲がってしまう可能性があります。

5 左右のリリースタブを押しながら、本製品本体をラックに奥まで挿し込み、左右のスライド固定用ネジ穴にスライド固定用ネジを締め付けて本製品を固定します。



6 イラストを参考に、以下の手順で本製品を接続します。



- ①本製品をご使用になるネットワークに本製品付属のLANケーブルで接続します。
- ②付属のACケーブルを本製品の電源ユニットに差し込みます。
- ③付属のACケーブルをACコンセントに差し込みます。

注意

電源冗長化にあたりそれぞれのACケーブルは別系統のコンセントに挿してください。

7 電源ボタンを押します。

電源ランプが点灯し、HDDランプが点滅します。



電源を切るには電源ボタンを1秒間押ししてください。

注意

必ず本製品を電源ボタンを押してオフにしてください。電源タップのスイッチを切るなど、本製品の電源ボタンを押さずに電源をオフにすると、データ消失したり、HDDを破損する恐れがあります。

5 管理画面のログインと設定用ツール

本製品はリモートデスクトップを使用して管理画面を開くことができます。

●管理画面のログイン名とパスワードの初期値
ログイン名：admin パスワード：admin

●本製品のIPアドレスが分からない場合
以下の説明をお読みになり、付属のCD-ROMからHost Explorerをインストールしてください。

Host Explorerを起動すると、NSBシリーズが検索され該当のNSBシリーズとIPアドレスが表示されます。表示されない場合は、「再スキャン」ボタンをクリックして再検索を行ってください。

Windows版設定用ツールのインストール方法

1 本製品を管理するPCに本製品に付属のCD-ROMをセットします。

- 「Host Explorer client Setup.exe」をダブルクリックします。



2 ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

3 画面の内容に従ってインストール作業を進めます。



4 これでHost Explorerのインストールは完了です。

- デスクトップにショートカットアイコンが登録されます。



5 ショートカットアイコンをダブルクリックします。

6 リストに表示された本製品を選択し、[設定] をクリックします。



7 リモートデスクトップの接続画面が開きます。

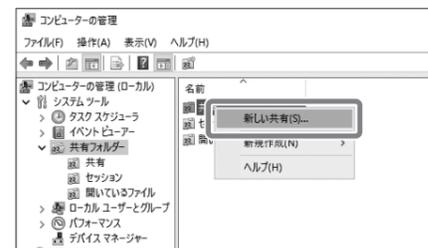
初期値 ログイン名：admin
パスワード：admin

6 共有フォルダーの作成方法

1 Windows Storage Serverのスタート画面で[Windows管理ツール] をクリックし、[コンピューターの管理] をダブルクリックします。

2 [共有フォルダー] をクリックします。

3 [共有]を右クリックし、表示されたメニューから[新しい共有] をクリックします。



4 [次へ] をクリックします。

5 既存のフォルダーのパスまたは新しく作成するフォルダーのパスを入力し、[次へ]をクリックします。



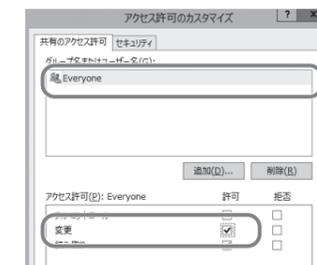
初期設定で共有フォルダーを作成するときは、フォルダーパスに「D:\\$Share」と入力します。「指定したパスが見つかりません。作成しますか?」と表示されたときは、[はい] をクリックします。

6 共有名と説明を入力し、[次へ]をクリックします。



7 [アクセス許可をカスタマイズする] を選択し、[カスタマイズ] をクリックします。

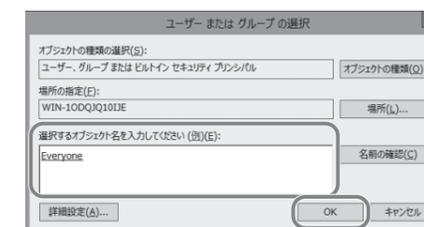
8 [Everyone] を選択し、[変更(許可)]をチェックします。



9 [セキュリティ]タブ内の[編集]-[追加]をクリックします。



10 [選択するオブジェクト名を入力してください]に「Everyone」と入力し、[OK]をクリックします。



11 [Everyone]を選択し、[変更(許可)]をチェックします。



12 [OK] - [OK] - [完了] - [完了] をクリックします。